

会 議 録

会 議 名	令和 2 年度第 2 回 辰野町図書館協議会
開 催 日 時	令和 3 年 2 月 26 日 (金) 午前 9 時 00 分～10 時 00 分
場 所	辰野町立辰野図書館 2 階会議室
出 席 者	委員 6 名中 4 名 (事務局：宮澤教育長、西原課長、辰野図書館職員：千田・吉澤)
会 議 次 第	<p>進行 課長</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 開会のことば 2. 教育長あいさつ 3. 協議事項 (進行 会長) <ol style="list-style-type: none"> 1) 令和 2 年度図書館利用状況について 2) 令和 3 年度予算について 3) 令和 3 年度図書館事業運営について 4) その他 4. 閉会のことば
会 議 結 果	<ol style="list-style-type: none"> 3. 協議事項 (進行 会長) <ol style="list-style-type: none"> 1) 令和 2 年度図書館利用状況について 辰野図書館職員から説明し、質疑を経てご了承いただく。 2) 令和 3 年度予算について 辰野図書館職員から説明し、質疑を経てご了承いただく。 3) 令和 3 年度図書館事業運営について 辰野図書館職員から説明し、ご了承いただく。 4) その他 担当から説明する。
発 言 者	発言の内容
会 長	<p>コロナという経験したことのない厳しい状況の中で、私たちの生活そして子供たちの生活が大きな影響を受けている、そんな中で一年が過ぎました。まだそれが収束をしていない。だからこそ新しい図書館のあり方を考える時期なのかと思う。少し長くなるが、お話ししたいことがある。ご存知のように小野図書館がこの 3 月末をもって完全に閉館になるということで、先般図書の払い出しに、私も勤務先のほうにもぜひということもあり伺った。私個人でもいただいてきた。その中で紹介したいことがあり、私は国語の教師なので関連したものをいただいたが随分古い本です。見ると発行が明治 32 年という古い本。小野村寄贈図書という印がついてある。その横に「書を読む者の心得」というのがあり、全部は紹介しきれないが、例えば「読書の目的は知識を広め、特性を養って、これを実際の生活に資するにあり」「健全なる書籍を選び、念を入れて精読すべし」・・・と本を読む心得が書かれている。そして小野図書館の古い蔵書が驚くほどたくさんあったが、一つには蔵書を整理するシステムが辰野図書館とは違っていたこと、もう一つは小野図書館ができたときに、多くの人が本を寄付して、自分たちの図書館を少しでも充実したものにしたいという思いで寄贈された本が多かった。そういうものをやたらに捨てられないということもあるのだろうが、地域に支えられてきた図書館が一つなくなってしまうのは大変残念だが、こういう流れの中ではやむを得ないと思いながら、何か、図書館が続けてきたそういった精神のようなものを、この図書館でも引き継いでいけたらと思った次第です。長くなりましたが今日はよろしくお願いします。</p>

会 長	それでは、いつものように事務局から説明いただき、その後一括して質疑とします。
図書館職員 (千田)	(一括説明)
会 長	最初の図書館利用状況について。今年度はコロナの影響で大きな変化があった訳ですが、数が減っている基本的な理由はコロナの影響と考えていいと思う。何かご質問はありますか。(なし) 次の、図書館の予算についていかがか。
課 長	補足で、コロナの関係でここで三次補正があり、はっきりとはしないが図書館については図書除菌機、空調の関係が予算がつけば令和3年度になってからやる予定で進めている。
C 委 員	図書除菌機というのはどのようなものか。
図書館職員 (千田)	数冊をつるしたり開いたりしておいて、紫外線と風で除菌消臭できるもの。図書館職員で行うか利用者で行うか、図書館によって使い方は分かれる。冷蔵庫のようなもので数十秒で行う機械。本体70万くらいと保守・消耗品あわせると百数十万位。
図書館職員 (吉澤)	コロナのおかげで進化した分野。今までは一部の図書館でしか入れてなかったが、上伊那では南箕輪が2台導入した。
会 長	確かに今こういう厳しい状況が続いているので、そうしたものの導入は是非お願いしたい。近隣でもう入っているということなので、情報をもらってぜひ検討をお願いしたい。
A 委 員	今の話にあわせて、コロナだからできなかったこと、コロナだからできたこと、こういった対応をしてるんだということ、貸し借りだけではなくて、業務に携わる人たちの大変さとか、住民が今のような過剰に心配してもいけないし、そういうところを何かの形で報告してもいいのでは。そうするとこれから利用する人たちが「こうやって除菌しているんだ」「こんな大変な思いをしている」となると、本の扱いとか変わったり、少し意識されるのではないかということでは大事なことと思う。工夫をされては。
C 委 員	科学的に、そこまでしなくてはいけないのか、という気がするものもある。
会 長	私たちが含めて、漠然と、図書館の本はいろんな人が触っているからという思いもあると思う。そういうことも含めて必要な対策かと思う。Aさんのご意見に関連し、機械を導入すると知らない人はこれで図書館の職員は楽になると思われるかも知れないが逆である。コロナ対策にこういうことをやっている、私たちが協議会委員をやっているながら、図書館の皆さんのご苦勞を知らなかった部分がたくさんあるので、何かの機会に、こういう風に対応していると目に見えるかたちで、積極的に広報されたら。 次に、図書館事業運営についていかがか。(なし)少しでもコロナが収まって、いろいろな事業が正常に実施できるように願うが、なかなか今の状況の中では予断を許さないというところ。なければ私から一つ希望ですが、今年は皆さんご存知のように1951年に制定された児童憲章のちょうど70周年に当たる節目の年。ちょうど私の生まれた年でもあるが、それを機に5月5日のこどもの日ができたわけですが、ぜひこの子どもの読書週間のあたりがその期間に当たるが、児童憲章というもの、お母さん方のご存知だと思う。母子手帳にも印刷されているが、実は忘れられてしまっているので、ぜひ「児童憲章から70周年」ということをアピールするような企画を入れていただけるとうれしい。

図書館職員 (吉澤)	5月のテーマ展示で、子どもの権利ということで出す予定だが、より児童憲章が際立つ展示をしたいと思う。ぜひご期待いただければ。
会 長	その他で何かあるか。
A 委 員	<p>いくつかある。一点は、小野図書館のこと。歴史ある図書館でありながら、恥ずかしながらこちらとしても足が遠のいている状況。小学校の教頭先生等とボランティアのことで話をしたときに、今、小学校の校長先生や教頭先生が、ボランティアの受け入れについてかなり色々考えていらっしゃる。学校の空き教室がボランティアルームみたいなかたちで活動を始めるのだが、それにあたり学校の中でボランティアの人たちと地域の人たちが憩えるような場所づくりを模索している。その中で課題になってくるのが、学校は平日あいているが、地域の人たちにしてみれば、土日のほうがどちらかという時間的には出られる。そこを図書館でどうこうとなるとまた人件費とか、開ける大変さとかもあると思う。そんなに毎週ではなくて、月に1回とか何かというときに土日に地域の人たちが憩えて、ボランティアの話だとかが気さくにできるようなものがないかということで、学校と話をしている。運営に当たっては、特別に人を置くというのは大変だから、利用できる人たちがグループを作って図書館の掃除を兼ねて、自分たちがそこを自由に利用できて、ちょっと本を見たり、お茶を飲んだりといった憩える場所を。今だに学校の中でもそういうスタイルが少しずつボランティアの情報の中にも入ってきている。学校の中に住民の方が入り、学校に行けない子達と交流したりというところもある。何かそういうかたちのものがないかと模索している。そんな利用の情報も発信できればと思っているし、そういう情報があればお聞きしたいと思う。</p> <p>もう一点は100周年ということで、先ほど会長が(古い本に)書かれていたとあったように、寄贈されたものが多かったとか、そうやっぴろんなかたちで図書館というものが、人たちの交流の場だったのだとつくづく思った。塩尻で見たかと思うが、100周年でこだわるわけではないが、暮しの手帖。テレビでも朝ドラで放送されたが、ああいう中に戦争体験や当時の暮らしぶりみたいなもの、本が特別なものではなくて生活の中で息づいていたということを書かれた人の特集があった。そういったものも一つ、企画の中に入れていただければ。あんなときにこんな生活をしたのだという。先ほどのコロナの話ではないが、やはり昔に教えられることもあるし、これから考えていかなければいけない基点になるような、一つそういう企画もありか。片隅に入れておいていただければ。</p>
会 長	A委員のご意見に関連する、小野図書館の今後だが、資料の中で「図書館機能の存続とあるが貸出があると勘違いする」ということだが、町長からの回答書には確かに、図書館機能については存続の方向で場所等検討するとあるが、何か進んでいる方向性などあるか。
課 長	小野農民研修センターがあるが、耐震ができていないことと場所的に危険なところで、それに代わるものを検討している。その中にぜひ図書館機能を入れたいと考えている。地元でもそういうかたちで図書館機能は活かせるようにといわれている。今現在休館中の小野図書館の建物については、地元と検討しながら利活用を考えていく。図書館機能は残して新しいところへと考えているので、しばらくの間は使えないがご理解をいただきたい。小野農民研修センターに代わるものについてはまだ具体的に決まっていないので、具体的に次第プレスする。
図書館職員 (吉澤)	小野図書館の残った本の、青空リサイクルのイメージだが、今、実際何冊どこの施設に出たかというのを登録してもらっている。データにして一般にどのくらい、どこの施設にどのくらいというのを全部登録し、それが終わった時点で残りがどの

<p>図書館職員 (吉澤)</p>	<p>くらいかが出る。それについては払い出すということは考えられず、一括除籍となるが、まとめて古本屋に出すとか処分するとかではなく、辰野図書館に持ってきてここでまたリサイクルの機会を設ける、クッションを設けて、できるだけたくさん本を活かしていきたいという気持ちで、青空リサイクルを検討しているところ。具体的に決まったら広報等で周知するのでぜひご利用いただければ。まだ2週間の払い出しの整理がついていないので、整理が終わったら具体化してまた広報してご案内できるかと思う。</p>
<p>会 長</p>	<p>定期監査に対する指摘事項で、辰野町にしかない古い新聞や郷土資料はデータベース化を検討されたいということで、私お隣の箕輪町でも関わっている関係で、古いみのわ新聞が図書館にあり閲覧させてもらう機会があった。とにかく紙が劣化して複写をしてもらうにもなかなか大変で、データベース化されていれば大変うれしいと思った経験があった。データベース化というのは、昔はマイクロフィルムですが今はきっとスキャンしたものをデータに取り込むということだと思うが、業者に頼むと莫大な費用がかかる。この間個人的に、そういうことを簡単にできないかと思い、非破壊で、補正してデータが取れ、そんなに高くない機械があり、ボランティアでたとえばそういうことをやって見たい方に手伝ってもらって、業者抜きでやれば少し安くできるのかなと思ったのだが、含めてご検討いただければ。</p>
<p>図書館職員 (吉澤)</p>	<p>確かに、そういった簡単なやり方があると思うが、今一番困っているのは、みのわ新聞と同じような、辰野朝日新聞だとか昭和二十何年といった、吹けば飛ぶような状態。それらについてできれば、記事検索までできるようなかたちのデータベース化を考えている。そうなるただスキャンしただけでは難しいかと思うが、資料によっては今会長のおっしゃったようなやり方も可能かと思うので、いろいろ研究して予算要求をしていきたいと思う。実施計画にはずっと出しているが7~800万、一千万に近い額になってしまう。</p>
<p>会 長</p>	<p>ぜひ前向きをお願いします。 熱心なご協議ありがとうございました。以上を持ちまして、第2回図書館協議会を閉じます。お疲れ様でした。</p>